

# みんなのた場

スポット  
ライト

未来環境が指定管理  
石巻市北上観光物産交流センター

## 地域の物産や観光案内

平成30年に北上町十三浜にオープンした石巻・川のピジターセンター。そこに隣接する「石巻市北上観光物産交流センター」も、今年で5年目を迎えます。これまでは石巻観光協会が指定管理していましたが、昨年4月から未来環境(株)(須江)にバトンタッチしました。観光情報や

地場産品の販売などを行っており、今年も精力的に活動しています。

センター内には、ワカメやコンブ、ヒジキなど地域ならではの海産物、水産加工品が並びます。ほかにも、同地区でオランダ式の農業を行う「デ・リーフデ北上」のパプリカやトマトもあり、地域の特

産品が盛りだくさんです。

地元の住民らで作る仕事サークル「手作り彩」や「北上手作り会」が作るポーチや小銭入れ、バッグなどもあるほか、本市の中心市街で展開されている「猫印集め」に関するグッズの販売も行っています。

観光案内にも力を入れており、地域のおすすめスポットを気軽に聞くこともできます。最近ではコロナ禍で密にならない旅行に注目が集まっており、自然豊かな北上地区を訪れる方は多いといえます。神割崎や釣石神社、追分温泉など、同センターでは道順や魅力などを伝えていきます。

大規模なイベントを開けなかつた昨年を教訓に、今年2月には十三浜地区の新鮮なワカメの直売会を催し、好評を得ました。

スタッフは「コロナ禍の様子を見ながら、訪れた人に喜んでもらえる魅力あるイベントを企画していければ」と意気込みます。これから、新鮮な農産物や海産物が並ぶ朝市の開催や、ピジターセンターと連携したイベントの開催も検討していきたいそうです。

雄大な自然と、そこから生まれる食の魅力となっている北上町。同センターは地域を楽しくするための情報を教えてください。北上町を訪れた際は、ぜひ足を運んでみてください。

石巻市北上観光物産交流センター

98-9861



スタッフ3人が地域の魅力を発信しています

文化財  
たんぽう

121

## 発掘調査報告書を刊行しました

石巻市教育委員会生涯学習課



道路北側の石積み

牡鹿半島の大原浜周辺では、県道石巻鮎川線給分浜復興道路の建設が続けられています。今回発刊した石巻市文化財調査報告書第17集「石森城跡・中沢館跡」は、この道路の建設に伴い、地中に埋もれている貴重な遺跡(文化財)を発掘調査によって記録して保存した報告書です。石森城跡は、牡鹿半島では最も大きい城館跡(中世の砦の跡)で、葛西氏の家臣が作ったものと言われており、その範囲内には、伊達政宗の御仮屋跡(宿泊所)があり、ちょう

ど今の大原小学校の敷地内にあたります。発掘調査の結果、縄文時代の遺構や、近世の溝跡、土塁、石が積まれた石塁や石垣などを発見しました。これらは、御仮屋跡に関するものと考えられますが、調査されたのは城跡の一部分です。中沢館跡の調査では、柱列跡が発見されましたが、城館跡に係る発見はありませんでした。

これらの発掘調査報告書は、石巻市図書館や宮城県図書館で閲覧できるほか、独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所が運営するウェブサイトで「全国遺跡総覧」で簡単にダウンロードできますので、希望する方は利用ください。

## 石巻専修大学

### 「研究室をのぞいてみたら...」

石巻市と石巻専修大学は、地域社会の発展と人材育成および学術の振興を図ることを目的に連携協定を結んでおり、協力して研究活動が行われています。ここでは、地域連携事業の研究成果の一部をご紹介します。

#### その1 深海魚が水揚げされる石巻魚市場

深海魚と聞くと皆さんはどんなイメージを持つでしょうか?グロテスク、見たことが無い、どう料理したらよいか分からないなど、あまり良いイメージは連想しないと思います。しかしここ石巻の魚市場では結構水揚げされている魚で、魚市場の水揚げ量と金額を支えています。底引き網漁船は世界記録級の深さの水深で底引き網を引いて深海魚を漁獲しているのも他には無い特徴です。本学理工学部生物科学科 鈴木英勝研究室ではこれらの魚種から有用な資源を発掘する研究をしており、今回、将来的には石巻を代表するかもしれない深海魚を紹介いたします。



▲夕方になると底引き網漁船が石巻魚市場に入港します

#### ■ナガツカ

長い柄に見えるから「ナガツカ」と呼ばれています。体は細長く、ウナギ体形で、粘液で覆われているため、掴むのにコツがいります(頭を持ちます)。北海道~千葉県銚子の太平洋沿岸、北海道~島根県隠岐の日本海沿岸に生息します(※分析の結果、身と皮にはウナギと同じくらいの量のコラーゲンが含まれていることが分かりました)。肉は、白身で固く締まっており、かまぼこの原料の一部として利用されているほか、干物などに加工されています。仙台うみの杜水族館の深海魚コーナーでは生きた状態で展示飼育されています。



#### ■アカドンコ

名前の由来は目が悪く鈍い感じなので「鈍い魚」で「ドンコ」。魚体が赤味がかかるため「アカドンコ」と呼ばれています。本種が属するウラナイカジカ科の多くが深海性で全体的にブヨブヨした身のため、底引き網漁師さんも廃棄処分するものが多く、一部の漁師だけが食べていました。ぶつ切りにして鍋やみそ汁で食べますが、唐揚げやフリットにするとジューシーに揚がって美味です。





# 牡鹿 皆で守ろう交通安全

鮎川小学校で交通安全教室



新学期を迎え、4月18日に鮎川小学校で交通安全教室が開催されました。石巻警察署牡鹿駐在所の協力・指導のもと、全校児童13人が横断歩道の渡り方を確認したほか、交通安全のクイズに元気よく答えていました。鮎川小学校は、学校安全(生活安全・災害安全・交通安全)に取り組む学校「セーフティプロモーションスクール」に認定されており、年間を通してさまざまな安全教育を実施しています。



# 石巻 言葉と生活知識に意欲

8カ国10人日本語学ぶ

市と国際サークル友好21が共催する「楽しい日本語教室」の開講式が4月18日、石巻かわまち交流センターで行われ、8カ国から10人が参加しました。昨年から引き続き受講するヴィタライさんは「2年前にウクライナから来ました。ラーメンともずくが好きです」と話し、拍手を浴びていました。約1年間、講師となるボランティアの協力を得ながら日本語や日本の文化を学んでいきます。



# 河北 入館者300万人を達成

温泉・上品の郷ふたごの湯

ふたごの湯は4月21日に入館者数300万人を達成しました。節目を射止めたのは東松島市野蒜ヶ丘の高橋義光さん。震災後から10年間通い続け、健康管理に役立てていると元気に話していました。ふたごの湯の泉質は、宮城県唯一の豊富な鉄分と塩分が含まれており、湯上りも温かさが持続します。この日も多くの方が訪れ、心と体を癒やしていました。



# 雄勝 恋する灯台に悠々と

有志がこいのぼり掲揚

「恋する灯台」に認定された大須崎灯台に端午の節句に合わせて4月16日、こいのぼりが掲げられました。全国から寄付されたもので、地元有志の「雄勝に鯉のぼりを泳がす会」が震災後、復興と住民の元気を願って地区内に掲揚しています。ボランティアの手を借りてほか3カ所にも設置されました。



# 河南 元気に楽しく過ごそうね

子育て支援センター「はじまりの会」

河南子育て支援センター(パプラ)が毎年行っている「スクエア子育てひろば」の令和4年度のスタートとなる「はじまりの会」が4月26日、農村環境改善センターのホールで開かれました。コロナ対策のため人数をしばり、7組の親子が参加しました。未就学の子どもたちは、ボランティアによる歌遊び「ちょうちょ」や人形劇「3びきのこぶた」など楽しみました。



# 桃生 中津山一小到季節の作品

桃生ちぎり絵サークル協力

中津山第一小学校の廊下や階段には、美しい風景などをモチーフにしたちぎり絵作品が常時十数点展示されています。これらは地元の「石巻桃生ちぎり絵サークル」(熊谷良子代表)の皆さんが制作したもので、学校の要望を受け、平成29年11月から展示。年4回内容を入れ替えて、四季に合わせたちぎり絵作品を披露しています。児童対象の教室なども開きながらちぎり絵の楽しさを伝え続ける熊谷さんは「和紙の魅力を感じ、親しみを持ってもらえればうれしいです」と話していました。



# 北上 地域の自然を楽しんで

白浜ビーチパークがオープン

北上町十三浜にある白浜海岸に隣接する施設「白浜ビーチパーク」が今年も4月1日から11月30日まで開園しています。園内には日帰りのデイキャンプサイトやトイレ、洗い場、遊具などがあり、ピクニックやバーベキューなどが楽しめ、休日は家族連れなどで賑わっています。開園時間は午前8時から日没まで。火気の使用、テント設営には届出が必要ですので白浜ビーチパーク運営組合(☎090-6639-5153)まで問い合わせください。

